



10/12・18 手洗いマイスターによる手洗い教室



「正しい手洗い」を楽しく学んでもらおうと、緑ヶ丘幼稚園で、四国中央地区食品衛生協会が初めて実施しました。参加した年長児は、ライトを当てると洗い残しが青白く光る特殊な液を付けて手洗いをし、手のひらが光る不思議な現象に驚きながらも、一生懸命正しい手洗いを学んでいました。

10/25 みんなでロボットを作ってみよう！



新宮小中学校で参加型公開授業が行われ、同校の4年生と市内の小学4～5年生の合計31人が、コンピュータープログラミングを使ったロボット作りに挑戦しました。参加した児童たちは、愛媛大学の学生たちと一緒に、目を輝かせながらお掃除ロボットの基礎作りに取り組んでいました。

10/26 愛媛大学紙産業イノベーションセンター 第4回シンポジウム



愛媛大学紙産業イノベーションセンターは、紙産業に関する新たな技術開発と、地域との連携拠点となることを目的に平成26年4月に開設されました。今回のシンポジウムでは、セルロースナノファイバーの開発や研究、同センターの取り組みについての報告を行い、企業や行政、大学関係者ら約200人が参加しました。

10/24 四国電力株式会社が街路灯を寄贈



四国電力株式会社の「よんでんグループふれあい月間」(10/1～10/31)の事業の一環として、本市に街路灯(14灯)を寄贈いただくこととなり、市長室で寄贈式が行われました。篠原市長は「市民が安心して歩けます。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

10/26 ～今年で30回目～ 四国中央すし商組合が太陽の家を慰問



外食などをする機会が少ない入所者にすし屋の雰囲気味わってもらおうと、四国中央すし商組合(松本浩二組合長)が毎年この時期に行っており、今年で30回目になります。この日は、組合加盟店の職人10人が握りずしや巻きずしを巧みに調理し、入所者は目の前で握ったすしをおいしそうに味わっていました。

10/28 健康まつり



会場の四国中央市保健センターには、総合健診や血管年齢や血圧の測定、歯の健康、アロママッサージなど、健康に関するさまざまなコーナーが設けられました。約300人の参加者は、自身の体の状態をチェックしたり、医師や保健師などに相談したりして、健康への意識を高めていました。



10/27・11/14 西保育園と寒川保育園で芸術士派遣事業



西保育園



寒川保育園

この取り組みは、さまざまな芸術分野に高い知識を有する「芸術士」が保育園に出向き、子どもたちの興味や芸術表現をサポートすることで、自由な発想と想像力を最大限に引き出す環境をつくることを目的とし、講師に香川県高松市の長谷川隆子さんを迎えて実施しました。西保育園では10月27日（金）に「新聞紙を使って遊ぼう」と題して行われ、年中児と年長児の21人が、みんなで新聞紙を貼り合わせて大きな1枚の紙を作り、その下に隠れたりジャンプしたりして楽しみました。また、寒川保育園では11月14日（火）にナイロン袋を使っての授業が行われ、年長児21人が協力しながら、袋を貼り合わせて大きな「おうち」を作りました。

10/28・29 第7回シルバーフェスティバル



金生町下分のシルバー人材センター本部事務所で開催されました。会場では木工や陶芸、手芸など、シルバー会員の力作が並んだ作品展のほか、バザーや手作り小物販売コーナーなどがあり、多くの来場客が作品を鑑賞したり、手打ちそばを味わったりして、会員たちとの交流を深めていました。

10/29 川之江漁協水産まつり



川之江漁業協同組合（三好猛組合長）の魚市場で開催され、会場でわら焼きされたカツオのたたきや地物の活魚、水産加工品などを買い求める多くの来場客でにぎわいました。また、小学生までが対象のお魚つかみどりコーナーでは、大勢の子どもたちが袋いっぱいに魚を詰めていました。

10/29 SIFA ハロウィンパーティー



福祉会館で、第9回目となる市国際交流協会（SIFA）によるハロウィンパーティーが開催されました。

思い思いの仮装をした親子連れなど約300人が参加し、ステージイベントやゲーム、仮装コンテストなどを楽しみました。

11/2 新宮小中学校の生徒が砂金採りを体験



新宮小中学校の中学部14人が、新宮町上山の銅山川で砂金採りを体験しました。これは、新宮町で昔、農閑期の副業として砂金採りが行われていたことから、同校の体験学習として初めて実施したものです。生徒らは、講師から助言を受けながら、目を凝らして小さな砂金を探していました。



まちの話題

11/2

土居高校・小富士小学校 合同農業体験研修



土居高校で、同校の2年生と小富士小学校3年生が里芋の収穫を行いました。アグリカルチャーコースの高校生がくわで掘り起こした後、みんなで協力して里芋を収穫し、収穫体験の後には、地元農家の方が作った芋炊きと、高校生が作った里芋入りカレーを参加者全員で味わいました。

11/3

スポーツアドベンチャー in 四国中央市



参加者同士のふれあいを深め、体力づくりにつなげてもらおうと、伊予三島運動公園で開催されました。体育館と多目的グラウンドでは、スポーツクライミングなど21種目が体験でき、約600人の参加者は、スタンプを集めたり記録を記入したりしながら、いろいろなスポーツを体験していました。

11/5

別子・翠波はな街道サイクリング2017、てらの・金砂湖畔広場秋の感謝祭



サイクリングは、金砂湖畔公園をスタートし新居浜市別子山の筏津で折り返す全長50kmのミドルコースに186人、また法皇湖を一周する全長7kmのファミリーコースに82人がエントリーしました。タイムや順位を競わない大会とあって、気持ちのいい秋晴れのなか、参加者たちは思い思いのペースでサイクリングを楽しみました。

またサイクリング大会に合わせ、てらの湖畔広場で秋の感謝祭も開催され、嶺南地区の各種団体による地元農産物やお芋の天ぷらなどのバザーが行われたり、サイクリングの参加者に芋炊きなどが振る舞われたりしました。

11/9

JKJ0 全日本ジュニア空手道選手権大会に 出場！



流心館（吉田健一代表）の今井康貴くん（三島高校2年）と今井琴梨さん（三島東中3年）が、直接打撃制ルールで行われる第11回JKJ0全日本ジュニア空手道選手権大会への出場報告のため、市長室を訪れました。篠原市長は「相手は強いですが、自分の持つ力を出せるよう頑張ってきてください」と激励しました。

11/10

高齢者交通安全教室



川之江町の宇摩自動車教習所で開催され、ドライブレコーダーの説明や歩行環境シミュレータを使っての道路横断の疑似体験などが行われました。13人の受講者は、反射たすきを着用することの重要性や道路横断時の注意点について助言を受けるなど、交通安全への意識を一層高めていました。



11/12 子育てフェスタ 2017



伊予三島運動公園体育館で、子育て支援に関わるさまざまな団体が出展して開催されました。

今年は、「からだ育ち、こころ育ち」～みんなで、からだ豊かに、こころ豊かに～をテーマに開催され、赤ちゃんはいはいレースやほっこりんショーなど家族が一緒になって楽しめるイベントのほか、相談コーナーやバザーなどもあり、訪れた大勢の家族連れなどは、楽しい1日を過ごしていました。

11/11・12 第7回市民ミュージカル
「宇摩のシンデレラ おさく」上演



約300年前に土居町津根の八日市に生まれ、その人柄から後に紀州藩主の生母となったおさくさんの物語を、公募市民のみなさんが演じました。土居文化会館（ユーホール）の舞台では、約4か月間練習を重ねた出演者たちが演技や歌を披露し、満員の観客から大きな拍手が送られました。

11/14 第19回宇摩法人会
チャリティー講演会



元衆議院議員の杉村太蔵さんを講師に招き、土居文化会館（ユーホール）で開催されました。杉村さんは、自身が衆議院議員に当選した時のエピソードなど、人生の転機となったできごとについてユーモアを交えて話し、満員の客席からは笑いと大きな拍手が起こっていました。

市長の
ひとりごと



四国中央市長
篠原 実

「おつかれさま」

晩秋から初冬にかけて、寒さがじわりと、にじり寄ってくるのがわかる。

また、それとイコールするように、日暮れはいつきに暗くなる。

いろんな思いがありながら、もうすぐ一年の終盤を迎える。

両手が無意識のうちに、吐く息で暖を取ろうとする。思い出すのは、なるべく楽しい方がいい。

でも哀しいかな、浮かぶのは、つらくて、しんどかったことの方が多い。

でも、一月、一年と過ごすうちに、そんなこともほろ苦く、ほほ笑んだり、涙ぐんだりすることになる。

人はそれを経験を積むと言うのである。

ああしよう、こうしようと、いろんな人に苦労してもらったことも、過去のことになっていく。

よし：今から元気を出して頑張ろう！
人生はそれの繰り返しだ！！
諸行無常の響きは、遠くかすかに聞こえてくるのがいい。

それは、現世に生活している者の特権である。
ご苦労様です。

